

関東蒲生会30年度 かわら版

発行：平成30年8月18日

関東蒲生会と始良市ふるさと会について

関東蒲生会 会長 小倉 収

関東蒲生会会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年までは、関東蒲生会の総会を会員のご協力のもとで、単独で開催してまいりましたが、本年からは別紙のとおり、関東ふるさと会としまして、関東蒲生会、関東始良町会、東京加治木会と一緒に(合同で)総会を開催することになりました。

今年は、明治維新150周年記念として、NHKで西郷どんが放映されており、郷里でも大変な盛り上がりしておりますし、当日は、昔懐かしい太鼓踊りを始良市太鼓踊り保存会の皆様(今回担当は加治木の反土地区保存会)をお招きしまして、中野サンプラザホテルの中庭や大ホールで踊っていただくことになっております。

懇親会では、蒲生、始良、加治木のテーブルも設けますので、多くの方々のご出席をお待ちしております。

なお、当日はつけあげ、加治木饅頭、芋焼酎、蜂蜜、ちまき、もち米などを景品として用意しようと思っておりますので、皆様方お誘いあわせの上ご来場を賜りますようお願い申し上げます。

※関東蒲生会は、今後も親睦団体として存続させる予定ですので、会員の皆様方のより一層のご協力をお願い申し開けます。



蜂蜜づくりに精出す小倉会長



黒江伸一さんからのあくまき



関東蒲生会運営寄付金のお願い

関東蒲生会 幹事長 山下 憲男

ご承知のように関東蒲生会は年一回の総会・懇親会で会員相互の親睦と町との交流を主な役割としてまいりました。引き続き今後の運営も総会での決議に基づき続けてまいる所存でございます。

一方、今回の総会・懇親会のご案内も含めた、通信費、印刷費、会議室使用料など1年間の維持運営を総会参加者の会費の中から捻出し、不足分は有志の寄付と幹事一同のボランティアで賄っているのが実情でございます。

引き続き、関東蒲生会の会員の方々から広く運営寄付金の募金を募っております。関東蒲生会の有志の方々に寄付を賜りますようお願い申し上げます。（振込用紙を同封してあります）



明治維新150周年記念 第21回 渋谷・鹿児島おはら祭

あいらびゅー踊り連隊長 久富木 文子

今年のおはら祭は、明治維新150周年の歴史の大きな節目を記念して、鹿児島実業男子体操部によるアトラクションや、「西郷どん鹿児島観光展」も開催され、特色ある祭となりました。

本番の踊りパレード2018は5月20日(日)13:00開会式、関東連56、鹿児島連13の総勢69連、2600人の踊りパレードが道玄坂、文化村通りを踊り歩きました。渋谷・鹿児島おはら祭2018の特徴は、大河ドラマ「西郷どん」にちなみ、各連から「西郷どん」役をパレードに参加させることでした。

あいらびゅー踊り連は、蒲生出身の豊田「西郷どん」を先頭に、始良、加治木、蒲生の関東勢で、踊り手38名、給水隊・パレードエスコート6名、総勢46名で、渋谷音頭、おはら節、ハンヤ節、東京オハラを、文化村通りから道玄坂の上り下りを踊り切りました。

第67回天文館おはら祭りが11月3日(土)文化の日に鹿児島・天文館で開催されます。来年の第22回渋谷・鹿児島おはら祭は平成31年5月19日(日)開催予定ですので、どうか、踊りに、応援に来てたもんせ。



やせづくい(野菜づくり)

副会長 井之上 政勝

都合の良いところがあれば趣味の畑でもやろうかな、と思っていたところ運良く同じ市内に住む同級生でもある小倉会長から畑やらないか、とりあえず鍬だけあればいいよ、と勧められ野菜作りを始めました。

畑に行き大地の新鮮な空気を吸って耕し汗をかき、種を撒き、苗を植えたりして収穫する喜びはひとしおで楽しいものです。

妻も収穫籠を持って畑に行くと気持ちがいいねと言って喜んでくれています。

耕運機や堆肥(牛糞、鶏糞等)は小倉会長が用意してくれて畝作りして種を蒔いたり、苗を植付けるだけの作業から始めました。



何となく、蒲生の農家の景観

初めて植えたのは根菜類のサツマイモ、大根、人参や葉菜類のチンゲンサイ、小松菜、ほうれん草、ブロッコリー、白菜、キャベツ等です。

はじめての野菜づくりですが、野菜作り三十数年と言う小倉会長の御指導宜しい野菜が良く出来ました。

とりわけ大根は特に良く出来て豊作で、また、茄子や芋も沢山取れました。

野菜づくりを初めて最初のころは食べ切れない野菜は近所の人や知り合いに配ったりして食べて貰っておりましたが現在は私自身家族が増えたりして野菜物は自給自足で大変助かっているところです。

野菜づくりをはじめて四～五年経ちますが今では野菜の種類も増えてきてこれまでの野菜に加えてネギ、ニンニク、玉ねぎ、春菊、絹さやエンドウ、イチゴ、スイカ、トマト、キュウリ、オクラ、カボチャなどの苗の植え付けや種を撒いたりして90坪位の畑に今では年間を通じて三十数種類の野菜を作って楽しんでおります。

これからキャベツ、人参、インゲン、小カブ、白菜や大根。玉ねぎなどの種などの種撒きをしたり、秋野菜などの種を蒔いたり、苗の植え付けをしたりしてこれからも野菜作りに励もうと思っているところです。

また、マルチを張って植えたり、寒冷紗や不織布のベタがけやトンネル栽培等農作業の小技を覚えたり、物置小屋を作ったりして、いずれにしてもだんだん野菜作りに欲が出てきて小倉会長のすすめもあって少し畑を増やしたりして作る種類も増えてきました。

今ではこの相模原大地の畑でふるさと蒲生で育った者同士私たち同じ蒲生会の小倉会長や篠崎先輩と隣同士畑を作り楽しんでるところです。

鍬をふるって大地を耕し体を動かし汗をかくことは健康にも大変良いようです。汗をかいた後のビールもこれもまた最高です。

いつまで出来るかわかりませんが体が動く限り野菜づくりを続けていきたいと思っている今日このごろです。



小倉・井之上・篠崎荘園

渋谷おはら祭りで「西郷どん」に扮して

常任幹事 豊田 照貞

3月初めのある日、蒲生会の小倉会長より一本の電話があり、その内容は「今、渋谷おはら祭の打ち合わせをしているが、当日に西郷どんの格好をしてくれないか」とのことでした。

私は一瞬のためらいもありましたが快く引き受けさせていただくこととしました。

それは2,500名以上の踊り手の中で西郷どんに扮するのはわずか数名であるし、何よりも郷土の英雄である西郷隆盛に扮することができるのは一生に一度で名誉なことであると感じたからです。

数日後、上野の銅像を見に行き、身に着けている物などを把握し「これなら、そんなに時間をかけなくても揃えられる」と思いました。

私は、古いガラス瓶のコレクターとして毎週末は必ず東京近辺の骨董市へ通っており、刀は小学生の時から剣道を続けており、その関係で自前のものもあるし、その他は骨董市で入手できるの思がありました。

メインとなる緋の着物も、最近すごく値段が高くなっていてとても手が届きませんでした。知り合いの業者さんが、それに見合う物を安く提供してくださり大助かりでした。

揃えたものを稽古会の時にすべて持参いろいろとアドバイスを頂き準備も完了しました。

当日は蒲生会の前田さんに眉毛のメイクをしていただきましたが、皆さんに「もちっと太く」と言われ、わいわいがやがややりながらのメイクでした。

本番の最中は先頭でプラカードを持っていましたが、ずっと踊りたい気持ちでしたので最後の方は代わってもらい気持ちよく踊ることができました。

今回の西郷どん役はこれまでの人生の中でベスト5に入る強烈な思い出深い出来事であり、柳迫会長、小倉会長、久富木連長をはじめ踊りに参加された多くの方々や幹事の皆さんに励ましていただき、また背中を押して頂きました。

そして、かけがえのない貴重な体験をさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



蒲生の西郷どん チェスト!!

ようこそ蒲生会ドットコムへ

関東蒲生会ホームページ
kamoukai.com

関東蒲生会のホームページをご覧ください!

全国の各地にお住まいの蒲生出身者、蒲生に縁の方々も自由に閲覧・投稿できます。

このホームページには総会・懇親会時の写真や関東始良市ふるさと会も色々と投稿されております。

ホームページ

<http://www.kamoukai.com>

メールアドレス

office@kamoukai.com

関東蒲生会かわら版 平成30年8月18日発行
編集・文責 幹事長 山下 憲男

関東蒲生会のホームページ